

懇談会での意見を踏まえた学部・学科の見直し、ものづくり系学部案に関わる整理

前回懇談会に提示した主な論点

全体の学部等の構成に関すること

- 公立化に当たり、単に学部を新設するだけで終わりとするのではなく、新設する学部と既存学部との関係性や、長期的な視点での文理融合や人材育成などの考え方を整理した上で、学部の構成を考えていく必要がある。
- 社会福祉系、経済系、ものづくり系の学部構成については、全体を踏まえて整理する必要がある。
- 現在ある短期大学部については、公立大学における学部の構成を考えていく上で、現状のままでの公立化とするのか、4年制大学に移行することを前提にした公立化とするのかといった整理が必要である。

ものづくり系学部案に関すること

- 高校での教育内容が変わっていくことを踏まえて、世の中を創造していくということを大学で学ぶことは妥当な考え方である。
- 創造力を培うためにデザインを中心に置き、ものづくりで技術やマネジメントを身に付けながら、課題解決手法を導き出していく経験が必要である。
- ものづくりという視点で創造力を培うだけではなく、創造力と連携しながら課題に対する解決策を見つけ出していくようなカリキュラムも必要である。
- 市とものづくり市民の会が考えるそれぞれのたたき台を合わせて、1学部2学科制にして構成するという考え方がある。
- 短期大学部にある既存学科については、デザインという視点からの活用や連携が考えられ、具体的な内容を整理する必要がある。

既存の学部に関すること

- <経済学部について>
- 社会の在り方を考えていく上では旭川にも必要とされる学部であるが、既存のまま公立大学に移行するという点では不十分である。
 - これからの社会情勢などを見据え、新設学部や他の既存学部との関係性をしっかり捉える中で、大きな視点から見直していく必要がある。
- <保健福祉学部について>
- これからの社会情勢などを見据え、コミュニティ福祉、保健看護の2学科の内容や役割等を整理していくことが必要である。
 - 社会福祉の分野を経済学や新設するものづくり系学部の視点を絡めて連携させていくことが必要である。

前回懇談会での意見を踏まえた整理

学部等に関すること

- 公立化に当たり、単に学部を新設するだけで終わりとするのではなく、新設する学部と既存学部との関係性や、長期的な視点での文理融合や人材育成などの考え方を整理した上での学部構成の検討が必要である。
- 経済、保健福祉といった既存の学部については、今後の目指すべき方向を示すとともに、双方の学部が有する学びの融合や、ものづくり系学部との融合といった視点での整理が必要である。
- 本州まで行かなくても地元で学ぶことができる学部の設定について、高校生等のニーズを踏まえながら検討していくことも必要である。

- 新たな価値を創造していくためには、ブランディング、経営戦略やマネジメントといった点が重要となり、デザイン、イノベーション、経営、福祉という分野は相互に親和性があるので、影響を及ぼし合えるような学びの在り方の検討が必要である。
- イノベーションを起こすためには、基礎研究の型をベースにして、その型を破ることが必要であり、そのためにも学際研究によるイノベーションの場をカリキュラムに組み込むような検討が必要である。
- ものづくり系の学部を設ける場合には、既存の旭川大学の学部との併存ではなく、他学部や他学科の壁を越えてカリキュラムが履修でき、相互に影響を与え合えるような仕組みが重要である。

- 短期大学部にある既存学科については、デザインという視点からの活用や連携が考えられ、具体的な内容を整理する必要がある。